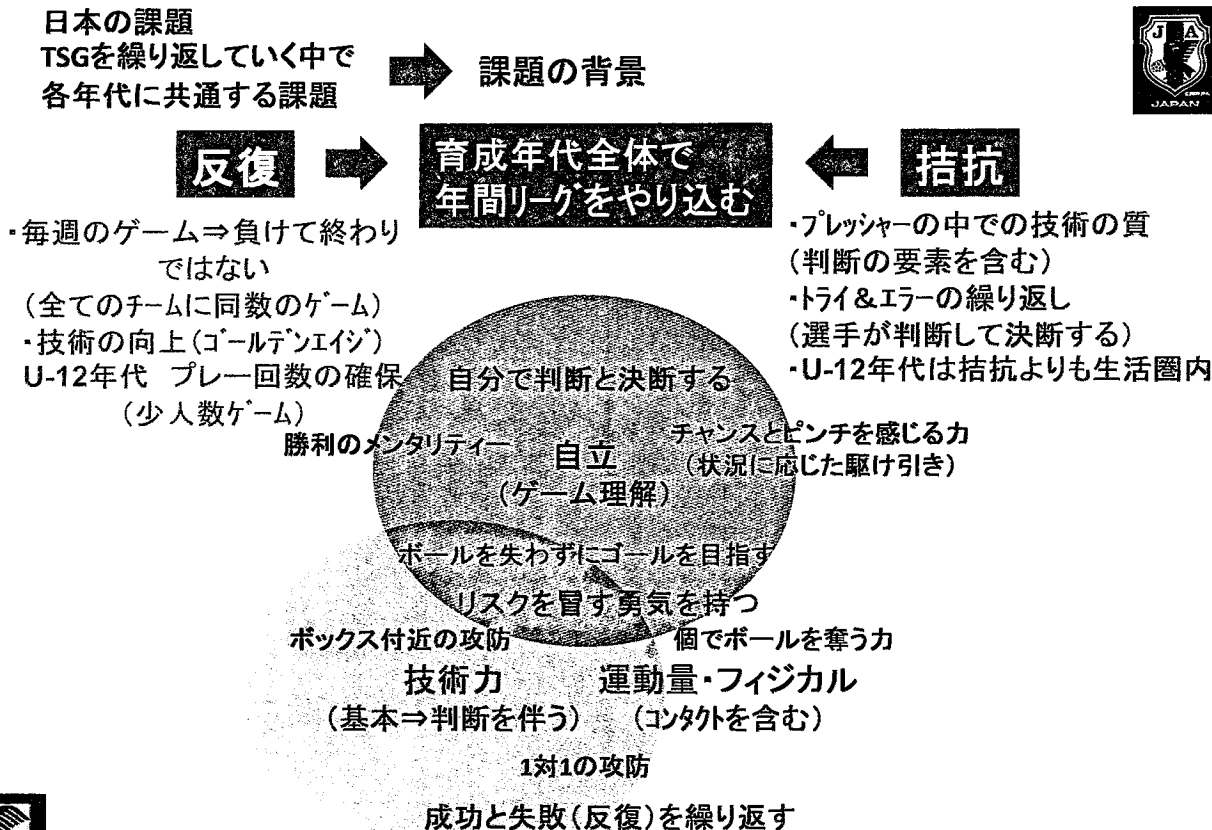




世界のトップ10に向けての実行の年2011

JFA2005年宣言



- ◆教える環境から、選手自身が学ぶ環境を作る。
- ◆年間リーグをやり込んで行く中から、自立した選手を育成する。



育成リーグの全体像

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	
U-10	オフシーズン	準備期	年間リーグ(8対8以下の少人数制)										
U-11			年間リーグ(8対8以下の少人数制)										
U-12			年間リーグ(8対8)									全少	
U-13			年間リーグ(11対11/8対8)										
U-14			年間リーグ (U-14・15年代の複数チームの出場) 1stチーム、2ndチーム									高円宮 U-15	
U-15													
U-16			年間リーグ (U-16・17・18年代の複数チームの出場) 1stチーム、2ndチーム									高円宮 U16	
U-17													
U-18													

全少大会の有無、時期は2010年・2011年2年間の検証中

オフ期 準備期 **ゲーム期**

- ◆育成年代全体で、シーズンを統一して期分けを習慣化する。

リーグ文化の醸成

年間リーグの必要性

年間、8~9ヶ月 20ゲーム程度 ホーム&アウェイ(2回戦制)
(降雪地域6~7ヶ月、14~16ゲーム)

年間を通したM-T-Mの実施(連戦ではM-T-Mにならない)

- ◆ベンチの指示を待つのではなく、自己判断出来る。
- ◆リスクにチャレンジして行く中で、トライ&エラーの繰り返しの中からゲーム理解を高める。



- ◆自立した選手の育成。
- ◆クリエイティブな選手の育成。
- ◆タフで逞しい選手(勝利のメンタリティー)の育成。





能力別リーグ(U-12年代は拮抗よりも生活圏内)

◆ 日常の環境⇒プレッシャーの共有



◆ プレッシャーが高くなる程、基本の差が表面に出てくる。



◆ 基本の追及 (Good footballerの育成)

攻撃と守備の両面があるから楽しい、そしてサッカー理解が深まる。
 全国レベル 10-0 FA3部チーム(一方的なゲームからは楽しさは学べない)
 全国レベル 1-1 全国レベル FA3部 2-2 FA3部
 (ゲームのレベル差はあっても、全ての選手がサッカーを楽しみ学べる)



個人登録のメリット(複数チームの参加)

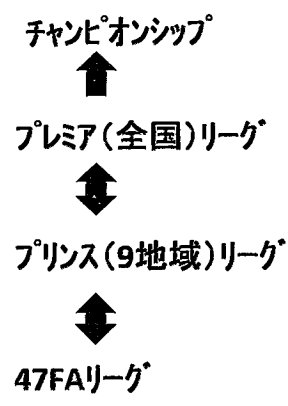
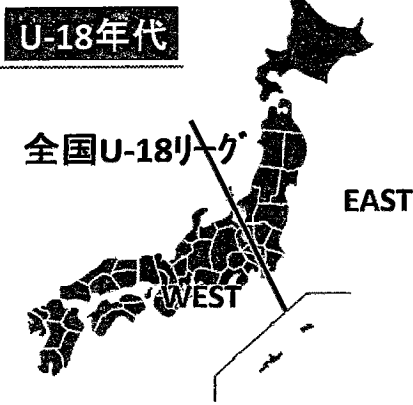
◆ 協会は個人登録している全ての選手に、年間20ゲーム程度の公式ゲームを提供する。



◆ 複数チームの参加に制限なし
 1stチームの直下のリーグまで、2ndチームは実力に応じて昇降格出来る。

◆ リーグの昇降格は、1stチームを基準として考え、1stチームが降格してリーグが重複する場合、2ndチームはリーグの順位に関係なく、下部リーグに降格する。
 (最下部リーグの場合は除く)





- ・U-18年代は、2011年にプレミア(全国)リーグがスタート。
- ・プレミアリーグのスタートに伴い、プレミアリーグ、プリンスリーグ、FAリーグの日程を合わせて行く事で、年間を通してリーグ戦とカップ戦の期間を棲み分けて行く。
- ・その為に、連盟大会(高体連、クラブユース連盟)の大会予選期間を合わせて行く。
- ・1週間に90分の1ゲームを100%の力で戦い抜くことを日常とする。またそのゲームに向けてのコンディショニングを選手自身が行えることを目指す

1週	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
1週			L1	L5	連盟予選	L7	連盟大会	L11	L15	連盟予選	L17
2週	OFF	準備期	L2	L6	連盟予選	L8		L12	L16	連盟予選	L18
3週			L3	連盟予選	連盟予選	L9 TM		L13	連盟予選	連盟予選	CS TM
4週		準備期 TM	準備期 TM	L4 TM	TM	連盟予選	連盟大会	L14 TM	TM	連盟予選	連盟大会
5週				連盟予選	連盟予選		L10		連盟予選		
備考	OFF期、準備期、ゲーム期の期分けを行い、育成年代全体でシーズンの考え方を作って行きたい。しかし、現状この期間に大会等がある事は理解する。			※4週日曜日→トレセン ※4月29日→リーグ戦デー	連盟全国大会で6週間リーグ戦は中断する			3連休を利用してリーグを2節入れる			連盟全国大会で6週間リーグ戦は中断する

<現状の検討課題>

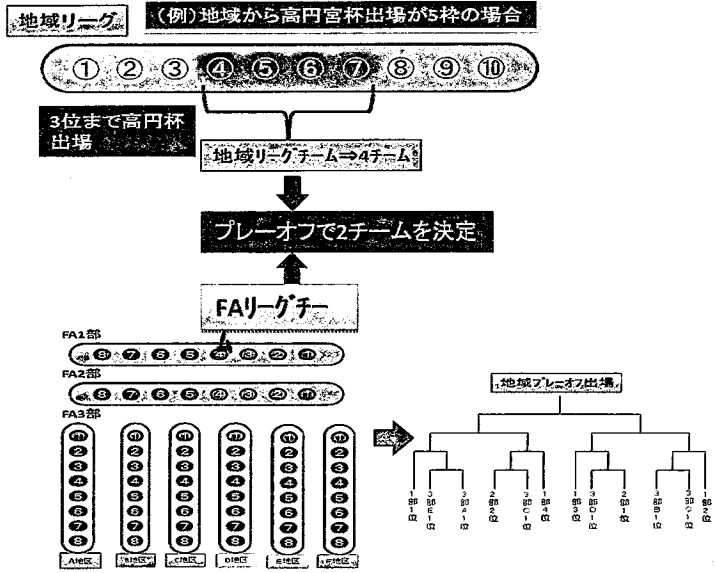
- プリンスリーグのチーム数・日程：プレミアリーグと合わせ10チームとし、節をそろえる
- プリンスリーグ2部の有無：1部が望ましいと考える。(JFA技術委員会で地域ごとに方針を出していく)
- プリンスリーグへの昇降格：地域での最高峰のリーグとして、参入時のFA枠は撤廃していく

U-15年代⇒9地域リーグ・FAリーグ



リーグ文化の醸成に向けて
↓
日常のリーグを充実
↓
将来的にプレーオフの規模は小さくする

高円宮杯への出場は地域リーグ上位チーム+プレーオフ



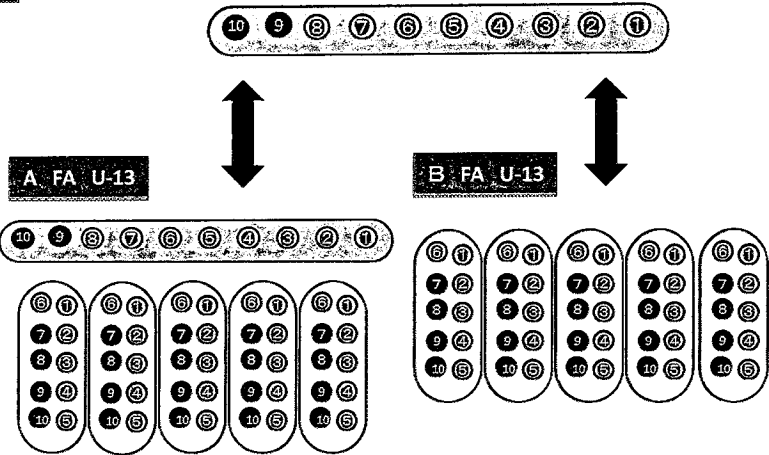
1週	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
1週			L1	L5	L9	連盟予選		L13	L17	L21	FA P 地域P
2週	OFF	準備期	L2	L6	L10	連盟予選		L14	L18	L22	FA P
3週			L3	L7	L11	連盟予選		L15	L19	NTC TM	TM
4週		準備期 TM	準備期 TM	L4 TM	NTC TM	連盟予選	連盟予選	L16 TM	TM	地域P	地域P
5週				L8			L12		L20		
備考	前年12月まで高円宮杯を戦っているチームのOFF期、準備期を配慮してシーズンの開始を決める		チーム数によって、リーグ戦を3月からスタートすることも可能	※4週日曜日→トレセン ※4月29日→リーグ戦デー	NTC(ナショナルトレセン)とTMを合わせていくことで検討	全中予選及び本大会があるため8月末までリーグ戦は中断する					NTC(ナショナルトレセン)とTMを合わせていくことで検討

<現状の検討課題>

- 地域リーグのカレンダーの整備：年間を通したバランスの良いリーグ日程であり、節を揃え公平性のあるリーグを作る
- リーグ戦の日程確保：地域の各連盟(クラブ連盟、中体連)大会の時期・日程を揃え、十分なリーグ戦の日程を作る

U-13年代⇒リーグU-13・FAリーグ

リーグ U-13



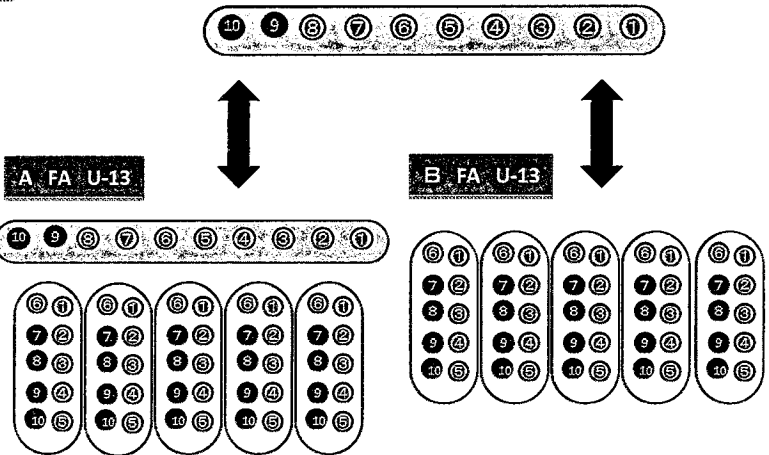
リーグ	ポラリス	メトロポリタン	ボルケーノ	ヤマトタケル	サザンクロス				
					A	B	4国	D	E
地域	北海道・東北・北信越	関東	東海	関西	中国	四国	九州		
チーム数	7チーム	JFA:7 1部16チーム (8チーム2グループ) 2部22チーム (8チーム2グループ)	JFA:5 1部(Aリーグ) 7チーム 2部(Bリーグ) 7チーム	JFA:9 16チームリーグ1回戦制 TFA:7	JFA:6 19チーム TFA:13	JFA:2 10チーム TFA:7	JFA:8 17チーム TFA:8		
FAとのリンク	ネパシリーグとFAリーグはリンクしない事を決定済み。	2011年からFAリーグと入れ替えを実施予定であったが、震災の為2011年は8チーム増で対応。	入替えなし	2012年シーズンから、FAリーグと入れ替えを実施。	入替えなし	入替えなし	中学校:1	入替えなし	中学校:1
今後のヴィジョン	東北U-15と北海道U-13の連携は現在TRCチーム	2011年は震災による経済措置でチーム数を増やしたが、2012年シーズンから、1部16チーム2グループ、2部16チーム2グループでFAリーグとリンクして行う。	2011年は実施FA実施 2012年にFAU-13リーグ開始予定 2013年度からFAとの入替を実施	6FAでU-13リーグ実施予定 チーム数を減らしてリーグ、または1,2部制、A,Bリーグ等の運営方法の検討が必要。	U-15リーグの整備中で、U-13リーグに手が回っていない現状がある。	3学年格わないと人数が少ない。また、J U-13はハードルが高く多く人が難し。	九州は、福岡を南北に分けて開催。移動範囲を考慮して、FAレベルでも格差可能な形を目指す。		
FAリーグ実施状況	現在実施無 石川:実施 富山:実施 長野:実施 北北:2012 同形態で開催 新潟:地区	8FAで実施	現在実施なし	現在実施なし	鳥取:8人制で実施 山口:地区実施(全県×) 岡山:地区実施(全県×)	徳島:実施 香川:2012年実施	福岡:U-15と組み合わせで実施。		

<現状の検討課題>

- この年代のゲーム環境の創出。
- リーグU-13とFAリーグとの関係の整理: リングして行くか否か等、将来ヴィジョン(2~3年)の作成。
- リーグU-13の日程調整: リーグの公平性を保つ為、節を決めたリーグ運営などを行っていく。

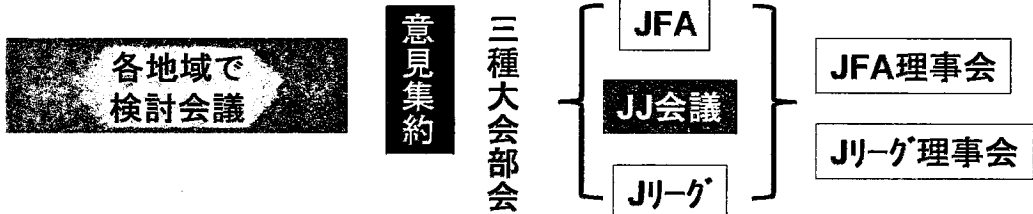
U-13年代⇒リーグU-13・FAリーグ

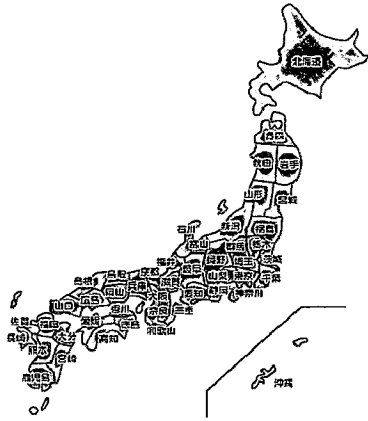
リーグ U-13



中期ヴィジョンの作成(リーグU-13とFA U-13リーグ⇒2013年シーズンに向けて)

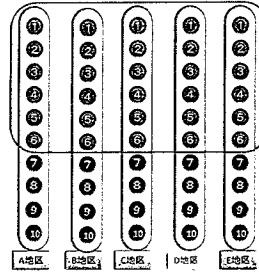
2011年 4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月



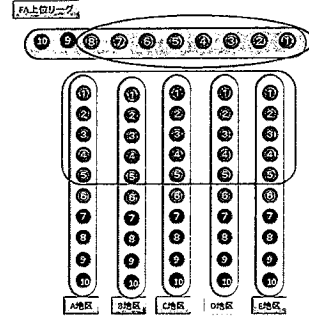


年間リーグと全日本少年大会のリンクに関して
(リーグ戦からカップ戦への出場チームを増やし、
緩やかにリーグ戦とカップ戦を繋げる)

α FA



β FA



全日本少年大会開催時期⇒冬開催

◆この年代の選手のクオリティを考えた時に、全国大会を行うのであれば、どの時期が良いかの検討

L リーグ戦 C カップ戦 TM トレセンマッチデー
連盟・招待試合

例2 U-12年代 全日本少年大会は12月に移行⇒年間リーグのから全少予選へのリンクを行う。

1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
土 日	土 日	土 日	土 日	土 日	土 日	土 日	土 日	土 日	土 日	土 日	土 日
1週			L1 L2	L5 L6	L9 L10	L13 L14	L17 L18	L21 L22	L25 L26	L29 L30	全少 全少
2週	OFF	準備期	準備期	C1 C2	C4 C5	C9 C10	C12 C13	C15 C16	C20 C21	C23 C24	全少 全少
3週				L3 L4	L7 L8	L11 L12	L15 L16	L19 L20	L23 L24	L27 L28	全少 全少
4週		準備期 TM	準備期 TM	C3 TM	C6 TM	C11 TM	C14 TM	C17 TM	C22 TM	C25 TM	F30 TM
5週				C7 C8				C18 C19		C26 C27	全少大会

■ 小学校6年生は、秋以降大きく伸びる

■ 降雪地域⇒降雪の為、外でのトレーニングが充分でない中で、全少予選は避けてもらいたい。

■ 8月(真夏)に質の高いゲームが行えるだろうか

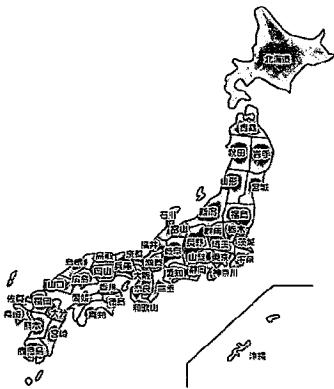
12

拮抗よりも生活圏内を重視(各FAで工夫していく)

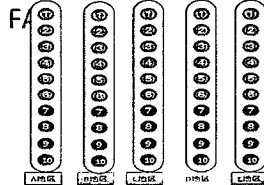
◆8対8以下のスモールサイドゲーム

◆リーグ戦は毎週2ゲームまでが原則

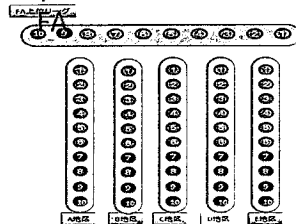
(土日の連戦、土曜日又は日曜日の1日2ゲーム)



α



β



年間リーグと連盟大会の棲み分け

L リーグ戦 C カップ戦 TM トレセンマッチデー
連盟・招待試合

例1 U-12年代 全日本少年大会は現行通り8月⇒全少予選は4週間集中開催

1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
土 日	土 日	土 日	土 日	土 日	土 日	土 日	土 日	土 日	土 日	土 日	土 日
1週			L1 L2	L5 L6	L9 L10	全少 全少	全少大会	L15 L16	L19 L20	L23 L24	L27 L28
2週	OFF	準備期	準備期	C1 C2	C4 C5	全少 全少	C9 C10	C12 C13	C17 C18	C20 C21	C25 C26
3週				L3 L4	L7 L8	全少 全少	L11 L12	L13 L14	L17 L18	L21 L22	L25 L26
4週		準備期 TM	準備期 TM	C3 TM	C6 TM	全少 全少	C11 TM	C14 TM	C19 TM	C22 TM	C27 TM
5週				C7 C8				C15 C16		C23 C24	
備考	OFF期、準備期、ゲーム期の期分けを行い、育成年代全体でシーズンの考え方を作って行きたい。しかし、現状この期間に大会等がある事は理解する。			*4週日曜日⇒トレセンM	*4月29日⇒リーグ戦デー	ゴールデンW⇒リーグ戦ではなく、チームでの大会参加や合宿期間としていく。	全少予選は、4週(土日)の8日間で消化していく。		チーム数が多く、トーナメント戦でも消化できないFAは別途協議。	秋の3連休はゴールデンW同様、チーム強化(連盟大会 etc)に使う。しかし、毎月4回のリーグ戦は設定して行く。	

<現状の検討課題>

■ 年間リーグの日程確保: 現行のカップ戦(短期リーグ含)の整理や統合を行い、リーグとカップを棲み分けるカレンダーを作る

■ 全少大会の有無・時期: 2010年・2011年の2年間で検証し、方向性を示していく

■ この年代にふさわしいゲーム環境の整備: 8人制と11人制の検証、及び1人審判の検証

■ スポンサー: 2012年度以降のスポンサーとの契約

11